

団体名	生きる力を育む研究会
活動テーマ	普段から社会的弱者を見守るためのコミュニティ生成型防災事業の実践



LODEファシリテータ養成支援ツール 項目別取組み目標達成度チェックチャート図  
**大目標** = コミュニティの訪ぎ直し(自助力・互助力の強化)

<p><b>図面 WS</b></p> <p>地域内にある社会的弱者の居る住戸を把握する</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p>	<p><b>図面 WS</b></p> <p>地域内にある社会的弱者の居る住戸を把握する</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p>	<p><b>育成</b></p> <p>地域内にある社会的弱者の居る住戸を把握する</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p>
<p><b>L</b></p> <p>中学生以上の「いざという時に頼りになりそうな人」の居る住戸にもシールを貼る</p> <p>「誰が誰を助けられるのか、避難時に誰がどのように困るのかを検討する」という流れで進めるが、対象者のタイプ別に必要なアレンジを施した。</p>	<p><b>L</b></p> <p>中学生以上の「いざという時に頼りになりそうな人」の居る住戸にもシールを貼る</p> <p>「誰が誰を助けられるのか、避難時に誰がどのように困るのかを検討する」という流れで進めるが、対象者のタイプ別に必要なアレンジを施した。</p>	<p><b>E</b></p> <p>地域内にある社会的弱者の居る住戸を把握する</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p>
<p><b>緊急協働</b></p> <p>地域内にある社会的弱者の居る住戸を把握する</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p>	<p><b>D</b></p> <p>地域内にある社会的弱者の居る住戸を把握する</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p>	<p><b>体験</b></p> <p>地域内にある社会的弱者の居る住戸を把握する</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p> <p>避難所や避難経路の確保</p>

LODE Fa-Tra Co-Map (特別な図面マップ) (PDF) 2017年7月12日版

地域の防災自助・互助力を強化するとともに、平時の地域福祉見守り体制構築に取り組むためのワークショップ LODE（ロード）を、地域で実践するとともに、その普及を図るための人材育成をも目指した取組みを行った。

ワークショップは基本的に「要援護者のタイプとその特徴についての学習」、「地図上で要援護者の居る住戸にシールを貼る」、「中学生以上の「いざという時に頼りになりそうな人」の居る住戸にもシールを貼る」、「仮想災害条件付与を行い、図上避難シミュレーションを行う」、「誰が誰を助けられるのか、避難時に誰がどのように困るのかを検討する」という流れで進めるが、対象者のタイプ別に必要なアレンジを施した。

高齢者中心のコミュニティ、マンション自治会、地域のコーディネータ役となる民生委員や災害ボランティアの研修会、そして子ども等、地域内の様々なタイプのコミュニティを対象にLODEワークショップを実施し、各々好感触を得ることができた。

伊丹市の自治会では、自治会世話役たちが“民生委員レベルを凌駕する福祉的認識力（要援護者に対する理解力）”を持つまでに育っていることを確認するに至った。コミュニティの弱いと言われるマンションコミュニティでも、コミュニティ再構築にLODEが貢献できることを知ることができた。また、子どもが理解できる研修会のやり方についても一定の方式を掴めたと確信している。

さらに、普及・伝搬のための「普及者育成のためのチャート図」を考案し、大阪圏の社協職員等を対象に試行調査を兼ねた研修会を実施したが、参加者から受ける手応えは強く、この手法（チャート図をもとにしたワークショップ）が今後の人材育成・普及活動の柱になっていくと考えている。